

## 4. 高齢者救急の諸問題

座長：安藤 健二郎(仙台市医師会会長)  
高橋 毅(国立病院機構熊本医療センター院長)

基調講演 高齢者救急の現況と対策

安藤 健二郎(仙台市医師会会長)

- (1) 在宅診療、高齢者施設での救急の現況と課題  
小豆畑 丈夫(医療法人青燈会小豆畑病院理事長・  
病院長兼救急・総合診療科部長)
- (2) 高度急性期病院における高齢者救急への対応  
山内 聡(仙台市立病院救命救急センター長)
- (3) 高齢者救急問題への救急医学会からの提言  
真弓俊彦(地域医療機能推進機構中京病院副院長、  
ICU診療部長)
- (4) 高齢者救急搬送の現状と問題点  
佐々木 隆広(仙台市消防局救急部救急企画課救急  
企画課長)

## 5. 臨床評価指標の運用について(仮)

座長：矢野 真(日本赤十字社医療事業推進本部  
副本部長)

福井次矢(NPO法人卒後臨床研修評価機構  
理事長/社会医療法人雪の聖母会常務理事)

- (1) 医療の質の可視化のためのビッグデータの活用  
伏見清秀(国立病院機構本部総合研究センター  
副センター長)
- (2) 未定  
金沢 奈津子(国立病院機構本部総合研究センター  
主任研究員)
- (3) QIによる医療の質評価と改善活動  
福井次矢(NPO法人卒後臨床研修評価機構理事長/  
社会医療法人雪の聖母会常務理事)
- (4) データ分析～改善活動～評価に基づいたクオリティ  
をマネジメントする人材育成  
森脇睦子(東京科学大学病院QMセンター  
副センター長)

## 6. TQM—医療の質・安全教育の体系的な実践と継続—

座長：梶原千里(静岡大学情報学部准教授)  
棟近雅彦(早稲田大学理工学術院創造理工学部教授)

- (1) 医療の質マネジメント・医療安全教育の変遷  
坂田一美(川口市立医療センター元副院長/医療の質  
安全管理センター副センター長)
- (2) 医療の質マネジメント基礎講座を活用したTQM  
教育の実施(仮)  
早津成夫(国立病院機構埼玉病院副院長)
- (3) 改善人材開発プログラムの実践(仮)  
立石奈々(飯塚病院改善推進本部マネージャー)
- (4) QCサークル活動の人材育成体系化の取り組み  
鈴木靖士(国立病院機構仙台医療センター  
臨床研修部長)

## 7. 働き方改革の進行状況

座長：黒澤 一(東北大学大学院医学系研究科産業医学  
分野教授)

岡 俊明(聖隷浜松病院院長)

- (1) 病院総合医の導入の効果  
星乃明彦(済生会熊本病院包括診療部長)
- (2) 地域の現状  
笠島浩行(市立函館病院消化器外科科長)
- (3) 救急病院に及ぼす現状  
北川喜己(名古屋掖済会病院院長)
- (4) タスクシフトについて  
小林修三(湘南鎌倉総合病院院長)

## 8. 医療情報ネットワーク(EHR)(仮)

座長：張替秀郎(東北大学病院院長)

- (1) みやぎ医療福祉情報ネットワークについて  
大田英揮(東北大学病院メディカルITセンター部長)
- (2) 千年カルテプロジェクト  
本格的日本版EHRと医療データの2次利用に向  
けて  
吉原博幸(京都大学大学院医学研究科EHR共同  
研究講座)
- (3) 官民PHR事業の進展状況と将来的なEMR/EHR  
との連携について  
田口健太(KDDI株式会社サービス統括本部担当  
部長)

## 9. 在宅医療における地域連携・薬業連携

座長：赤瀬朋秀(日本経済大学大学院経営学研究科  
教授)

西村康人(国立病院機構仙台医療センター  
薬剤部長)

- (1) 地域医療におけるアライアンスの実践にむけて  
赤瀬朋秀(日本経済大学大学院経営学研究科教授)
  - (2) 地域医療の持続可能性を目指した在宅専門薬局の  
役割  
岡添 進(訪問薬剤師ステーションHASC薬局  
薬局長)
  - (3) 地域における薬局と福祉との連携  
鈴木 すみれ(株式会社なの花東北)
  - (4) 地域における病院薬剤師の役割～地域連携を通し  
て私たちが出来ること～  
大内 友季江(光ヶ丘スパーマン病院薬剤科)
10. 特定行為研修修了者の活動を推進するためには
- 座長：澤田真紀(国立病院機構本部医療部サービス・  
安全課)
- (1) 看護管理者の立場から  
佐藤由紀(日本海総合病院副院長兼看護部長)
  - (2) 医師の立場から  
川井和哉(近森病院院長)